

校長だより(令和3年2月)

校長 吉井靖明

先月初旬、1都3県に緊急事態宣言が発出され、本県でも1日の感染者数が100名を超えたり、市内の中学校や保育園でクラスターが発生するなど、コロナウイルスは感染拡大の様子が目立ってきました。この状況を受け、本校でも行事等の中止あるいは内容の変更の決定をさせていただきます。また、急遽の変更もあり、保護者の皆様にはご迷惑をおかけする結果となりましたが、感染症の状況は予測不可能です。来年度の行事計画を立てる教育活動のねらいを達成していくために、従来のご理解を得ながら「新しい生活様式」の「新しいスタイル」での教育活動を模索していきたいと考えています。

○体育館建設予定地の発掘終了

1月5日から始まった発掘調査も順調に進みました。送迎時には車両や人の出入り等で迷惑をおかけしました。建設予定地からは古墳時代から中世にわたる何層もの遺構が認められ、水田跡やつぼなどが発見されたりしています。この地域は古くから人が渡り来り、入陸の焼き物や織物を造りだした先づきの文化を受け入れてきた土地柄。本校の近づくにも埴輪を焼いた登り窯の跡や、それにつわる土師神社があるります。この地域が古くから栄え、永きにわたる人々の営みがあることを再認識させられました。なお、発掘調査は1月末で終了し、いよいよ体育館建設工事が開始される予定です。



○就業体験実習・校内実習

1月18日から2週間にわたり高等部1・2年に就業体験実習及び校内実習が行われました。この実習は将来の社会自立をめざし、就労に必要なスキルや心構えを学ぶ実践的な活動です。実習を通して各自の取り組みが評価され、成果と課題が確認されます。その課題解決のため、以後の学校生活の目標が決定されていきます。事業者さんからは「真面目に取り組めた。」「挨拶がしっかりしている。」「日頃の学校の学習の成果が生かされている。」などお褒めの言葉を沢山いただきました。また、生徒からは「学校より楽しかった。」「緊張しなかった。」など頼もしい感想も寄せられました。成功体験と課題解決への努力を積み重ね、卒後の生活に向けて自信と意欲を育てていきます。



○職員人権教育研修会

1月27日の放課後、群馬県人権男女共同参画室啓蒙専門員の久保敏先生をお迎えし、職員を対象に「新型コロナやインターネットと人権」をテーマとした研修を行いました。先生からは、平等、幸せになる権利は誰もが生まれながらに持っている現実がある。差別や偏見は、本人の不安や悪影響を消すために他をとおして正しく理解すること、客観的に物事を見る力や冷静な判断力をつけることが課題解決につながる。そして、ねぎを教えた敬意や思いやり。最後に「大切にされ、優しく包まれた経験が子どもたちの健全な成長や差別のない社会につながる。温かい家庭、温かい学校づくりに尽力してほしい。」とのご要望をいただきました。示唆に富み、多くの気づきもあり職員の資質向上に資する充実した研修となりました。